

Miscanthus sinensis



分類	被子植物単子葉植物綱ススキ科	俗名	カヤ、オバナ	生活型	多年草
分布	日本全土に分布する。				
形態	大株になり、高さ2m。茎は太く、硬い。葉は細長く、長さ80cm、幅2cm、縁はかなりざらつき、中肋は白い。				
類似種	秋の七草				
生息場所	原野や路傍などに生える。また、茅葺屋根、壁材として古くから利用されていた。				
繁殖	花序は頂生し、長さ30cm、枝は10個内外。小穂は長さ6mm、途中で屈曲する2倍長ののぎがあり、小穂の基には10mm内外の黄褐色の直毛が斜めに開出する。小穂は対となるが両者とも有柄。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 双子葉植物』を改変					